

第38回

# 春の縄文野焼き祭り

—縄文土器は生命を抱く器 そして母なる大地の化身—

世界最古級の土器文化『縄文』は1万6千年以上前の日本列島に生まれ造形美と豊かな精神性を内包し花開きました。縄文文様には大地に生命満ち溢れますようにという祈りが込められています。



縄文の心のちの根源への想いをのせて

2024年4月28日(日) (雨天時29日)

【時間】午前9:00～午後4:00

【会場】猪風来美術館前広場

入場無料 (駐車場あり) 館内は観覧料が必要です

●販売コーナー

昼食・飲み物など販売いたします

●縄文大地の精霊ダンス

母なる大地に根ざした縄文の心が育んだ独自の造形美と豊かな精神性を内包した土器・土偶。「縄文野焼き」では、縄文時代と同じように大地の野炉で太陽や風や火の力によって焼き上げます。当日は陶芸教室生やスタッフたちが、縄文の心と技を学び丹念に縄目や渦巻文様を施して創作した作品を焼き上げます。作品焼成後には皆で輪になって、大地や火に感謝して「縄文大地の精霊ダンス」を踊ります。縄文の息吹にふれて大地とそこに満ちるたくさんの生命を感じる春の一日をお過ごしください。皆様のご来場をお待ちしています。

館内では【企画展】「縄文美らんまん 火焰土器展」を開催！新潟県信濃川流域の縄文人たちによる火焰型土器・土偶など30点、また猪風来美術館に集い学んでいる縄文作家たちの創作作品も展示中。古の縄文土器と現代縄文作品との新鮮な出会いは新しいアート創造への強いメッセージを発しています。



猪風来美術館  
新見市法曾陶芸館

■主催 猪風来美術館(新見市法曾陶芸館)・法曾焼同好会

■お問い合わせ先 猪風来美術館 〒719-2552 岡山県新見市法曾609 TEL・FAX 0867-75-2444 <http://www.ifurai.jp>